

思い出のメディア出演



KBC九州朝日放送に出演
(伊原剛志、支援する会)



TOSテレビ大分出演
(鈴木監督)



NBCラジオ出演
(鈴木監督、川崎事務局長)



サガテレビのニュース

九州内で映画「ら・かんぱねら」を取り上げてくれたメディア

(テレビ)

サガテレビ NHK佐賀 KBC九州朝日放送 RKB毎日放送 FBS福岡放送 TVQ九州放送 KTNテレビ長崎 NCC長崎文化放送 TKUテレビ熊本 KKB鹿児島放送 KTS鹿児島テレビ UMKテレビ宮崎 TOSテレビ大分

(新聞・雑誌)

佐賀新聞 西日本新聞 朝日新聞 毎日新聞 読売新聞 日本経済新聞 共同通信 時事通信 佐賀経済 長崎新聞 熊本日日新聞 大分合同新聞 MOTEMOTE 佐賀市広報 東京佐賀県人会

(ラジオ)

FM佐賀 NBCラジオ RKKラジオ えびすFM からつFM

(CATV)

ぶんぶんテレビ ケーブルワン



FM佐賀出演
(川崎瑠奈)

上映チケット交換時の封入用チラシ



ら・かんぱねら

La Campanella



何かに挑戦しようと思えば、挑戦できる機会がたくさん転がっている現代。それなのに、「自分には無理だ」と諦めて3日坊主で終わったり、「あなたには無理よ」と周りから言われてしまい、始めることすらできない人も多い。しかし、海苔漁という過酷な仕事の傍ら、ピアノを練習し続け、夢を叶えた男がいた。その姿を描くことで、「人間、やろうと思えばできないことはない」「新しいことを始めるのは、今からでも遅くない」と、挑戦する一歩を踏み出す勇気を与える映画です。

CAST 伊原剛志、南果歩、緒形敦、大空真弓、不破万作、どぶろっく、川崎瑠奈、他

2025. 1. 31 Fri ~

佐賀

佐賀先行上映！
イオンシネマ佐賀大和

2025. 2. 21 Fri ~

福岡
熊本

イオンシネマ福岡
イオンシネマ戸畑
イオンシネマ筑紫野
イオンシネマ大野城
イオンシネマ熊本

2025. 5. 9 Fri ~

東京

ユーロスペース（渋谷）



※上映期間は、館によって異なります。それぞれの館にてご確認ください。



< ご質問・お問い合わせ先 >

映画「ら・かんぱねら」を支援する会 事務局

TEL 0952-97-4781（平日 13 時～ 17 時）

東京・関西・福岡市の県人会も支援



徳永義昭氏が奏でる
ら・かんぱねら
先着50名
5月9日(金)
18時～

東京佐賀県人会会員 4,500円
一般 5,000円
(飲食付き)

場所
タカギクラヴィア
松涛サロン

お問い合わせ
03-6272-9885
メール: kenjinkai2021@gmail.com
◇東京佐賀県人会事務局

劇場公開記念
La Campanella
ら・かんぱねら

伊藤勲志
音楽
大塚正司 演出 松田 博
監督 徳永義昭 演出 徳永義昭
大塚正司

全国共通チケット販売中 (1,400円)




支援する会は東京・関西・福岡市の佐賀県人会を訪問し、総会などで映画への支援を呼び掛けてまいりました。東京佐賀県人会では、5月9日東京渋谷にあるユーロスペースでの公開と合わせて、映画のモデルとなった徳永義昭さんのコンサートを開催するなど、会員の総力をあげて独自の支援を企画して頂きました。このことは、ユーロスペースの延長上映に大きな力となりました。



佐賀新聞全5段広告

伊原剛志

南 果歩

不破万作

緒形 敦

枝元 萌

田中かみ

鹿毛喜季

川崎瑠奈

江口直人・森 慎太郎（どぶろっく）

大空真弓

夢を弾く
届きたい、
こころの音色を

ら・かんぱねら

ら・かんぱねら

いよいよ1/31(金)
イオンシネマ佐賀大和で公開開始！

この曲を弾きたい！
52歳の本気の挑戦がはじまる

九州・佐賀の有明海で海苔漁師として生きてきた男が、ある日、フランス・リストの名曲「ラ・カンパネラ」を聴いて感動。自ら弾いてみたいと、周囲の反対を押し切り猛練習を重ねる。プロのピアニストもひるむほどの難曲に、52歳の男の本気の挑戦がはじまる――。

監督・企画 鈴木一美

製作 鈴木一美 プロデューサー 鈴木一美 川口浩史 モデル 徳永義昭 徳永千恵子

脚本 前澤美穂子 鈴木一美 音楽 坂田 明 有木竜郎 プロダクションヤングジャー 桑山和之 撮影 丸山 剛 熊明 山川英明 美術 黒澤きみえ

監修 丸山 剛 録音 清水健一郎 編集 村上豊樹 配給宣伝プロデューサー 桑山和之 北村和秀 配給 コチ・プラン・ピクチャーズ

製作協力 映画「ら・かんぱねら」を支援する会 製作 京映アーツ / コチ・プラン・ピクチャーズ

特別協力 佐賀県 佐賀市

協賛 JF佐賀県有明海漁業協同組合 / 佐賀県立佐賀東高等学校不短大同窓会 / 株式会社サン海苔 / ド上グループ / 久光製菓株式会社

©2025「ら・かんぱねら」製作配給委員会・京映アーツ / コチ・プラン・ピクチャーズ

C & R

株式会社 佐賀 リコピーサービス RICOH Office Partner

JAバンク佐賀

株式会社 西日本企画サービス

メガネの 日サロ

映画「ら・かんぱねら」初日までの宣伝と取り組み				2025,1,22現在	
年	月・日	行動など	趣旨	対象	備考
2024	12月中に	招待券プレゼント	ワイドショーなどにお年玉プレゼント (招待券は、来年になる。東京試写会で対応)	テレビ・新聞・ラジオ	KBC受諾
		佐賀の十大ニュースに	今年を振り返る中に、入れさせる行動	テレビ・新聞・ラジオ	佐賀・福岡
		佐賀新聞	・十大ニュース(上位にランクイン)		年末に掲載
		サガテレビ	・十大ニュースに「ら・かんぱねら」入る		12月30日放送
			・NHK佐賀も・・・確認中		
		試写状付き年賀状を著名人へ	・映画評論家や著名人・県人会150名に試写状を		製作委員会で
		パリアフリー版製作スタート	障がい者用の音声と字幕ガイド製作（劇場用）		製作委員会で
		佐賀駅の大型モニターにて予告編			支援する会
	12月27日	糸島新聞	コラムで映画紹介「夢叶える」	糸島地区	
	12月30日	全五段P	1月31日の先行映画PR	佐賀新聞 一回目	12月30日紙面
2025	元旦	元旦号に記載	・佐賀新聞元旦号に大きく掲載 ・佐賀市報元旦号の裏面一面に掲載 ・東京佐賀県人会元旦号に記載		
	4日～10日	新年挨拶回り	商工会議所など		CM放映など
	1月12日	映画上映訴え	熊本・天草の映画館挨拶		監督・今村・北村
	15～16日	大分・北九州に映画上映訴え	大分・北九州(午後にTOS園田報道制作局長挨拶)		監督・今村・北村
	14日の週	KBC	13:50～14:50 地元応援 LIVE WISH	テレビで番宣	
	1月19日	演劇「ら・かんぱねら」	徳永さん演奏	東与賀ホール	
		全五段P	1月31日の先行映画PR	佐賀新聞 二回目	1月19日紙面
	1月20日	第一回東京試写会（渋谷・映画美学校）	映画評論家・県人会・フジテレビ関係者など		製作委員会で
		マスコミリリース	先行上映会のリリースと囲み取材の案内	製作配給委員会より	上映招待・進行案
かん ぱ ね ウ イ ー ク	1月24日	監督講演	16時40分～17時半		龍登園
		かちかちLIVE	サガテレビ出演要請(18時～)		監督・川崎瑠奈？
	1月26日	全面広告（佐賀新聞）	1月31日の先行映画PR	佐賀新聞	
	1月27日	FM佐賀	夕方のワイド(監督出演)		16時ごろ
	1月29日	えびすFM	ワイワイ横丁(監督出演)		10時から出演
	1月30日	NBCラジオ	午前中での生	監督出演	10時ごろ
	1月30日	KKB鹿児島放送	夕方のニュース枠	監督 ラインで出演	17時半から
	1月30日	LOVE FM	「さがの小部屋」でかんぱねらを放送		福岡のFM局
	1月31日	先行上映	知事・市長など舞台挨拶 南さんも参加予定	マスコミも招待する	進行は、製作委員会
	2月1日	イオンモールにてイベント(イオンパス)	舞台挨拶：伊原さん・南さん＆（2回）予定	マスコミも招待する	進行は、製作委員会
	2月第一週	全五段P	ダメ押しPR	佐賀新聞 三回目	
	5月9日	徳永さんピアノコンサート	東京上映初日に合わせて	東京佐賀県人会の主催	
				文責：北村和秀・桑山和之	

ら・かんぱねら NEWS vol.01 (表)



ら・かんぱねら NEWS

vol.01 2024.05

発行者：映画「ら・かんぱねら」を支援する会

La Campanella

映画「ら・かんぱねら」
4月12日 クランクアップ!!

2024年 秋
完成披露試写会
予定

CAST



主演：伊原剛志



南果歩



緒形敦



大空真弓



不破万作



どぶろっく



川崎瑠奈

主演、伊原剛志さんの役者魂！

- ・9月の主演決定後1日6時間ピアノを猛特訓！リストの「ラ・カンパネラ」を演奏できるまでに！
- ・海に落ちそうになりながらも、難しい船上での支柱立てをやりこなした！
- ・ピアノ演奏や海苔師の仕事に加え、佐賀弁もマスター！「佐賀弁むつかしかあ〜！」

南果歩さん、妻役にピッタリ！佐賀弁でアドリブ！

- ・方言指導の先生も驚きの流ちょうな佐賀弁！「あんた！なんばしょっと！」「何ね！その恰好は！」など
- 緒形敦さん、フレッシュな息子役！
- 大空真弓さん、映画のキーになる謎の女性を熱演！
- 不破万作さん、父役の渋い演技も見どころ！
- どぶろっくさんの海苔師役も見ものです！

inside story

隣の部屋からピアノの音色が聞こえる。映画スタッフたちは、次の場面の準備で大忙し。でも何となく和む雰囲気を作り出す。主演の伊原剛志さんと南果歩さんが少しの合間を縫ってピアノに向かって奏でる曲は、「ら・かんぱねら」であったり「浜辺の歌」であったりするが、それがスタッフたちの心の中まで染み、て和ませる。映画のロケ地での些細な事だけどチームワークの良さまで作り出している。また、佐賀市の浪漫座ではロケの合間にピアノに向かったのは南果歩さんだった。「い〜つか浜辺を・・・」と浜辺の歌を演奏し始めたら会場の100人のエキストラの皆さんが聞き入って涙する人も、終わったら果歩さんは皆さんにお辞儀、大きな拍手に包まれた。人情産地、佐賀ならではのロケ光景でした。

監督 鈴木一美

<https://la-campanella.net>



Shooting on a location



浪漫座 (柳町)

佐賀のみなさんと一緒に製作

～ ロケ地で新たな交流 ～

佐賀市柳町にある浪漫座での地元エキストラ
100名による映画の重要なシーンを撮影！

<主要ロケ地>

有明海の手賀漁場、戸ヶ里漁港、海童神社、東よか干潟ビジター
センターひがさす、浪漫座、レトロ館、直正銅像と城内公園、
佐賀東高校、古湯温泉、熊の川温泉、嘉瀬川ダム、白石修道館、
小川楽器店、他



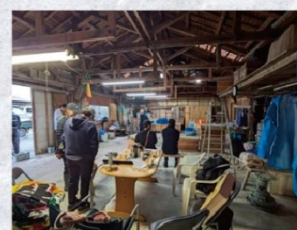
レトロ館 (城内)



パチンコ店 (下田)



徳田邸 (川副)



海苔小屋 (川副)



クラंकアップ

Volunteer



ボランティアスタッフの真心のおもてなし

～ 温かな、お味噌汁やスープ ～

俳優さんも映画スタッフも大満足のおもてなし！

延べ100名を超える炊き出し隊では、支援する会のスタッフに加え、南
川副・早津江・大詫間・広江・諸富などJF有明海漁協女性部の皆様が、
海苔スープ、豚汁、しし汁、玉ねぎスープなどの汁ものから、シシリア
ンライスや豚丼、カレー、おでんなど、それぞれ思考を凝らしたお料理
でおもてなしを行いました。炊き出し風景は、主演の伊原剛志さんの
instagramで動画配信して頂いております。是非、ご覧ください。

映画製作スタッフへの支援！

支援する会では、制作部の車輻ドライバーや美術道具の搬入搬出、食事
場のセッティングなど、影となって様々な支援で映画の撮影をサポート
させていただきました。

みなさまへご支援のお願い

この映画は1億5千万円の制作費がかかります。支援する会では、この映画
を素晴らしい映画にするため、皆様のご協力を募っております。



映画「ら・かんぱねら」基金



クラウドファンディング

発行者：映画「ら・かんぱねら」を支援する会

佐賀県佐賀市南佐賀2丁目6-3 TEL 0952-97-4781 mail:info@la-campanella.net



ホームページ



角川大映スタジオと編集室(東京都調布市)

映画「ら・かんぱねら」 オール・ラッシュに感動！！

2024年 秋
佐賀で完成
披露試写会

熱烈歓迎

東京調布市の角川大映スタジオに着いた3人は、久しぶりに再会する映画スタッフの熱烈な歓迎に、少し照れくさい仕草を見せた。一応の挨拶を済ませた後、スタジオ地下にある試写室に案内された。3人とは、映画「ら・かんぱねら」を支援する会のBOSSの川崎局長・川原事務長・鐘ヶ江デスク。支援する会が発足前から準備を進め、苦労を重ね映画製作に多大な貢献をした人たちです。「3人がいなかったら映画製作は無い」とも言われている。お礼を込めて誰よりも早く「オール・ラッシュは、先ず3人に観て貰って」感動を支援する会のメンバーに伝えてほしいとの配慮から行われた。



All-Rush

感動で無言に！

オール・ラッシュとは、効果音や音楽などが入ってなくて、台本に沿って映像シーンを繋いだものです。試写が進むにつれ3人の表情が変化し始めた。前のめりになったり、目頭を拭いたり、試写が終るとしばらく無言になり、込み上げてくるもの抑えながら製作スタッフに感謝を述べた。完成は8月末の予定で、秋には佐賀で先行上映が開かれます。

感動のひとこと

【川崎賢朗】監督からの誘いでオールラッシュ！映画のたまごを観てきました。佐賀を出発する時は楽しみ半分、不安半分が正直な気持ちでしたが、試写会はロケで仲良くなったスタッフがいて懐かしい中で始まりました。試写会が始まってすぐに不安は解消し音楽や効果音が加えられた完成作を早く大きなスクリーンで観たくなりました。

【川原常宏】台本を読み何度も涙させられたが、オールラッシュを観て、ロケの準備、撮影、炊き出しなど、これまでみんなでやってきたことを思い出し思わず涙が込み上げてきました。

【鐘ヶ江留美子】「ら・かんぱねら」一足先に観てきました。伊原さんが奏でる「ラ・カンパネラ」を是非スクリーンで聴いて欲しいです！皆さんご期待ください！感動をお届けします！

Message from the Director

天気予報士ならぬ予想士がいた。それも映画製作スタッフのひとりでピッタリ当たるから凄いです。ロケーションのスケジュールも遅延なく順調に行っているある日のことです。午前中から、どんよりとした雲が被い、今にも雨が降りそうな空模様でした。しかし、彼は笑顔で「夕方は晴れます」「有明海の夕日は撮れます」とロケ現場で確信を持って言い放った。スタッフは驚いたが涼しい表情にも余裕がある。その人の名は、原島孝暢助監督です。海苔が好きで、佐賀の酒が好きで、帽子が好きで、親父を愛する孝行息子です。ロケの現場では、いつものように大きな声で段取り、リハーサル、本番と繰り返しながら動き回る一方、翌日のスケジュールを入念にチェックし、決定版をスタッフや関係者にメールする。そこには、有明海の潮汐と天気予報が記載され「最高の助監督」と称されている。また、一緒に仕事したいスタッフのひとりです。

監督 鈴木一美



もうひとりいた **監督**

有明海での撮影は、すべて支援する会の佐々木成人くんが仕切ります。鈴木監督の右手にはいつもいて指示を的確にします。有明海の潮汐から漁船に乗船し方・支柱立て・海苔網の調整など全てを指導します。この映画は成人が居たから出来たと監督に言わしめた男です。



麻 ママのひとことで始まった！

佐賀市川副町小々森の旧田中邸に、映画「ら・かんぱねら」の主役が住む徳田邸のセットが作られた。美術・装飾のプロデューサー達が本気で素晴らしいセットに仕上げた。台所を覗くと食事シーンのための料理が盛り付けられていた。その中心に居るのが川原麻子さん。支援する会の川原常宏事務長の奥様で、通称「麻ママ」。人気者で事務局を切り盛りしているひとりです。何を隠そう「麻ママ」こそが、この映画を決意させた真の「立役者」なんです。鈴木監督が三年に渡って通い、海苔師のピアニスト徳永義昭さんをモデルにした映画づくりを訴え続けたが、中々いい返事を出さないBOSS。そんな時に普段は穏やかな麻ママが「なんばグジグジしよっとね！」と喝！この一言でBOSSの不安を払拭させ、頑張ろうと決意した。その後、順調に進み映画「ら・かんぱねら」を支援する会が発足し、現在に至ったという逸話があります！



cast



主演：伊原剛志



南果歩



緒形敦



大空真弓



不破万作



どぶろっく



川崎環奈

みなさまへご支援のお願い

この映画は1億5千万円の制作費がかかります。支援する会では、この映画を素晴らしい映画にするため、皆様のご協力を募っております。



映画「ら・かんぱねら」基金



クラウドファンディング

発行者：映画「ら・かんぱねら」を支援する会

佐賀県佐賀市南佐賀2丁目6-3 TEL 0952-97-4781 mail:info@la-campanella.net



ホームページ



映画「ら・かんぱねら」遂に完成！

完成披露試写会の日程決定！！

11月17日(日)
佐賀市文化会館
大ホール



ピアノを演奏する主役の伊原剛志さん

初号試写に拍手が沸く！

8月13日 東京調布市の角川大映スタジオで、関係者約30人を招待して「初号試写（特別完成試写会）」が行われた。新たに編集された映像に、坂田明さんの音楽と効果音が入りドラマの起承転結を作り出していた。役者の皆さんが流暢な佐賀弁で芝居すると近親感が増して来て、映画の中に入り込んだ。ラストシーンは、感激の余り涙が込み上げてきたエンドロールも長いけど短く感じた。

試写が終わって、隣にいた鈴木一美監督に握手を

求め「ありがとうございました」と感謝述べた時、会場から自然に拍手が沸き、改めて感激しました。試写で拍手が沸くことは珍しいと、カメラの丸池さんと照明の山川さんが説明してくれた。そして、これは大成功の兆しがあるとお墨付きを頂きました。



戸ヶ里漁港での夫婦シーン!伊原剛志さんと南果歩さん

あらすじ

有明海で海苔師一筋に生きてきた男がある日、リストの「ラ・カンパネラ」聴いて感動し、この曲を自分も弾きたいと決意する。しかし、周辺から、無謀だ・絶対無理など揶揄されながらもピアノに無縁な男は本気で挑戦を始める。就活する謎のピアニストからピアノを頂き、海苔小屋を改修した部屋で猛特訓が始まる。そして、妻の誕生日プレゼントに「ラ・カンパネラ」を弾く。無骨な男が家族愛、夫婦愛に包まれながら夢を叶えた海苔師の物語です。

鈴木監督を取り巻く三匹のオッサンたち



鈴木高正

製作配給委員会代表
ゼネラルプロデューサー

高倉健、最後の作品「あなたへ」を担当



丸池 納

撮影監督

宮司純子と寺島しのぶの親子共演。「待合室」や「眠る男」などを撮影



山川 英明

照明監督

48作品以上の映画照明を担当。代表作「島守の塔」「峠最後のサムライ」など

初めて3人と対面した時、鈴木監督の姑たちだろうと思いました。いやいや撮影が始まると、そんな思いは吹き飛んだ。富士建設の会社を古湯温泉の山口旅館に早変わりさせる鈴木さん。昼も夜も雨も関係ありません、物語の場面にあった照明をしますと山川さん。役者の動きを見てカメラアングルを決めていく丸池さん。平均年齢が75歳とは思えない程の身のこなしで若々しい映像を作り上げています。映画を鑑賞すれば、直ぐに分かります。素晴らしいです。

Message from the Director

数十年前のロケ現場は、怒鳴り声が飛び交うものでした。その声でまた、やり合うシーンが見られました。今の現場は、静かなモノです。インカムで連絡が伝わり、ボスはモニターを見ながらの指示で済みます。映像モニターもそうですが、以前はケーブルを引き回していました。今スタッフが見るのは、ノートPCより手軽に持ち運びできるタブレットです。場所を問わず映像のチェックが出来て、作業がスムーズに進められます。また、役者の芝居を録音するマイクケーブルもそうです。地面を張り巡らせてミキサーと繋いでました。今は、ワイヤレスの指向性が高いマイクで音をキチンと拾います。それに、照明もバッテリーが良くなり、小さな容量のものから大容量のバッテリーに変わり、LEDライトで明るく長時間の撮影が叶うようになり、有明海の沖合でのロケでも役者さんの芝居が鮮やかに照らされます。何となくロケ現場に入り、いつもの様に撮影して来ました。ふとロケ現場の床を見たら、整然としています。映画づくりの進歩を感じました。

監督 鈴木一美



お疲れの文太さん！

文太さん出番ですよ！

「文太さん寝ている場合ではないですよ」と声を掛けられても気づかず、トラックの運転席で爆睡する吉田信さん、愛称は文太さんで支援する会の人気者です。Facebookでも一番星桃次郎で登録するほど俳優の菅原文太さんが大好きで、直接会いに行った事有名な話です。話題は尽きない伝説の持ち主の文太さん！自称トラック野郎を名乗っています。爆睡するには訳があります。この日も早朝4時からのロケが始まるため、早起きして撮影機材などを運ぶ車両担当のボランティアで、昼の食事を済ませポカポカと気候も良くなり睡魔が文太さんを襲ったものです。お疲れ様ですと労いたい気持ちです。でも、この時だけ静かです。直ぐにいつものパフォーマンスが始まります。「監督、いいですよ。やります！」と監督だけでなく・助監督・プロデューサーにも売り込みに全霊を尽くします。現場では笑いもありますが、独特な対応にはエキストラのスターとスタッフをも感心させました。映画「ら・かんぱねら」どのシーンに文太さんが出るか、楽しみながら鑑賞して頂ければ幸いです。



監督の側にピッタリ



サイン収集の結果



予定表を熟知する



川崎瑠奈さんと一緒



エキストラ成功でピース

最高にうまい 佐賀海苔

～役者・制作スタッフが異口同音～



「僕の朝食は、パン食だったよ。でもねえ、佐賀で海苔と出会って、朝食はご飯に変えたよ」と目を細くして話してくれたのは、照明を担当された山川英明さんです。「熱いご飯に海苔を撒いて食べると最高だねえ。本当に日本人に生まれて良かったよ」とヒートアップしていく。製作スタッフや役者さんもまた、旨い佐賀海苔がこんなに大変な作業を通して一枚の板ノリに出来上がるとは、佐賀に来るまで知らなかった。そして、海苔漁師の苦勞が分かりましたと感想を述べていました。この映画のモデルになった徳永義昭さんも、同じ海苔漁師の仲間として作業をやりながらリストの難曲「ら・かんぱねら」を練習されたと、改めて凄さを実感したようでした。この海苔がロケ現場の食事の際、必ず添えられ佐賀の玉ねぎスープやレンコンなどと一緒に食卓を飾りました。佐賀には、日本酒も旨い宝庫です。「もっと PR してください」と注文があり、スタッフから全国に広めましょうと励ましの言葉もありました。お土産は、佐賀海苔を一番多く買い求め自宅や友人に送っていました。最後は、佐賀最高と連呼でした。

親愛なる友に捧ぐ ～内田俊彦アドバイザーを追悼～

去る7月30日にお亡くなりになられた内田俊彦さんと共に志をひとつに映画「ら・かんぱねら」を支えたメンバーとして、心から哀悼の意を表します。俊彦さんは、60歳の退職まで漁協の職員として勤められ、常識者で知見、見識を合い適えた方で私をはじめ大勢の人に心のこもったアドバイスをする等、絶大な信頼の持ち主でした。また、趣味も多彩で釣り用ボート、カラオケ、素潜り、バイクツーリングと多く華やかでした。特にバイクは複数台有する程で、40年近く続くツーリングクラブの会長を務めて頂きバイクの楽しさを教えてくれた人でした。俊彦さんを映画「ら・かんぱねら」の支援する会のスタッフに誘ったのは私でした。経験豊富な知識を生かして貰おうとお願いした所、支援する会の発会前から規約、定款作りに尽力を頂き、支援する会のアドバイザーとして活躍されました。その他、車両班として、映画の準備が進む中、マイクロバスを運転し福岡空港まで製作スタッフを出迎える。ロケ中は、早朝から深夜に至るまで送迎に努め、独特な口調で話し掛けて疲れているスタッフの気持ちを和らげて感謝されていました。また、PR隊としても映画のモデルになった徳永義昭さんのピアノコンサートなどでは、チラシを配ったり募金をお願いしたりと支援の輪を広める活動をされていました。支援する会のために一生懸命行動され、充実した日々を送られていた姿が今でも目に浮かびます。俊彦さん、念願だったスタッフ一同が揃った特別試写会を観る事は叶いませんが、一番良い席を用意しますので一緒に楽しみましょうね。



合掌 BOSS 川崎賢朗

発行者：映画「ら・かんぱねら」を支援する会

佐賀県佐賀市南佐賀2丁目6-3 TEL 0952-97-4781 mail:info@la-campanella.net



ホームページ